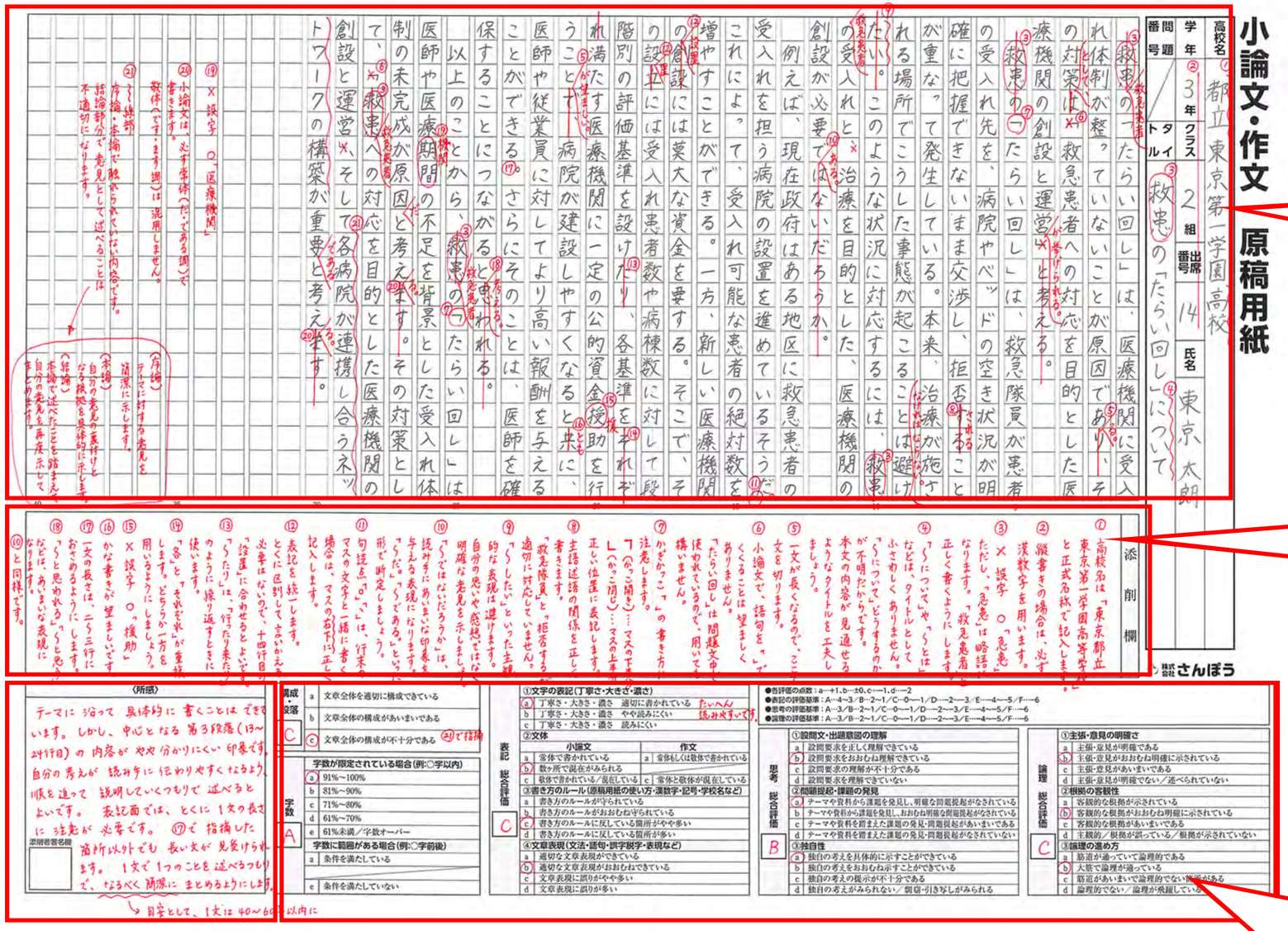

小論文・作文　原稿用紙

高校名　都立東京第一学園高校
学年　3年　クラス　2組　出席番号　14
氏名　東京太郎
問題番号　／
タイトル　救急の「たらい回し」について

救急患者のたらい回しは、医療機関に受入れ体制が整っていないことが原因であり、その対策は救急患者への対応を目的とした医療機関の創設と運営と考える。

救急の「たらい回し」は、救急隊員が患者の受入れ先を、病院やベッドの空き状況が明確に把握できないまま交渉し、拒否されることが重なって発生している。本来、治療が施される場所でこうした事態が起こることは避けたい。このような状況に対応するには、救急の受入れと治療を目的とした、医療機関の創設が必要ではないだろうか。

例えば、現在政府はある地区に救急患者の受入れを担う病院の設置を進めているそうだ。これによって、受入れ可能な患者の絶対数を増やすことができる。一方、新しい医療機関の創設には莫大な資金を要する。そこで、その設立には受入れ患者数や病棟数に対して段階別の評価基準を設けたり、各基準をそれぞれ満たす医療機関に一定の公的資金援助を行うことで、病院が建設しやすくなると共に、医師や従業員に対してより高い報酬を与えることができる。さらにそのことは、医師を確保することにつながるとも思われる。

以上のことから、救急の「たらい回し」は医師や医療期間の不足を背景とした受入れ体制の未完成が原因と考えます。その対策として、救急への対応を目的とした医療機関の創設と運営、そして各病院が連携し合うネットワークの構築が重要と考えます。

添削欄

①南高校名は「東京都立東京第一学園高等学校」と正式名称で記入します。
②縦書きの場合は、必ず漢数字を用います。
③× 誤字　○「急患」ただし、「急患」は略語になります。「救急患者」と正しく書くようにしましょう。
④「～について」や「～とは」などは、タイトルとしてふさわしくありません。「～について」とするのかが不明だからです。本文の内容が見通せるようなタイトルを工夫しましょう。
⑤一文が長くなるので、ここで文を切ります。
⑥小論文で、語句を「でくくることは望ましくありません。「たらい回し」は問題文中で使われているので、用いても構いません。
⑦「なぜかっこ」の書き方に注意します。「（かっこ閉じ）」…マスの下から2番目に「（かっこ閉じ）」…マスの上半分に正しい位置に表記します。
⑧主語述語の関係を正しく書きます。「救急隊員」と「拒否する」が適切に対応していません。
⑨「～したい」といった主観的な表現は避けます。自分の思いや感想ではなく明確な考えを示しましょう。「～ではないだろうか」は、読み手にあいまいな印象を与える表現になります。「～だ。「～である。」といった形で断定しましょう。
⑩「句読点「。」「、」は、行末のマスの文字と一緒に書く場合は、マスの右下に正しく記入します。
⑪表記を統一します。とくに区別して書かれるべき必要はないので、十四行目の「設置」に合わせるとよいです。「～たり」は、「行ったり来たり」のように繰り返すときに使います。
⑫「各」と「それぞれ」が重複します。どちらか一方を用いるようにしましょう。
⑬× 誤字　○「援助」
⑭かな書きが望ましいです。
⑮一文の長さは、二～三行におさめるようにします。「～と思われる」「～と思う」などは、あいまいな表現になります。
⑯と同様です。
⑰「～したり」は「行ったり来たり」と正式名称で記入します。
⑱「～と思われる」「～と思う」などは、あいまいな表現になります。
⑲× 誤字　○「医療機関」
⑳小論文は、「だ・である調」で書きます。敬体（です・ます調）は採用しません。
㉑よい表現　序論・結論で賛否を明確にしていない内容です。結論部分で意見として述べることは不適切になります。
（序論）テーマに対する意見を簡潔に示します。
（本論）自分の意見の裏付けとなる根拠を具体的に示します。
（結論）本論で述べたことを踏まえ、自分の意見を再度示してまとめます。

〈所感〉

テーマに沿って具体的に書くことはできています。しかし、中心となる第3段落（13～24行目）の内容がやや分かりにくい印象です。自分の考えが読み手に伝わりやすくなるよう、順を追って説明していくつもりで述べるとよいです。表記面では、とくに1文の長さに注意が必要です。⑰で指摘した箇所以外でも長い文が見受けられます。1文で1つのことを述べるつもりで、なるべく簡潔にまとめるようにしましょう。

↳ 目安として、1文は40～60字以内に

構成・段落	a	文章全体を適切に構成できている
	b	文章全体の構成があいまいである
	c	文章全体の構成が不十分である　㉑で指摘
字数	字数が限定されている場合（例：○字以内）	
	a	91%～100%
	b	81%～90%
	c	71%～80%
	d	61%～70%
	e	61%未満／字数オーバー
	字数に範囲がある場合（例：○字前後）	
	a	条件を満たしている
	e	条件を満たしていない

表記 総合評価	①文字の表記（丁寧さ・大きさ・濃さ）		
	a	丁寧さ・大きさ・濃さ　適切に書かれている　たいへん読みやすいです。	
	b	丁寧さ・大きさ・濃さ　やや読みにくい	
	c	丁寧さ・大きさ・濃さ　読みにくい	
	②文体		
	小論文		作文
	a	常体で書かれている	a　常体もしくは敬体で書かれている
	b	数ヶ所で混在がみられる	
	c	敬体で書かれている／混在している	c　常体と敬体が混在している
	③書き方のルール（原稿用紙の使い方・漢数字・記号・学校名など）		
	a	書き方のルールが守られている	
	b	書き方のルールがおおむね守られている	
	c	書き方のルールに反している箇所がやや多い	
	d	書き方のルールに反している箇所が多い	
	④文章表現（文法・語句・誤字脱字・表現など）		
	a	適切な文章表現ができている	
	b	適切な文章表現がおおむねできている	
	c	文章表現に誤りがやや多い	
	d	文章表現に誤りが多い	

●各評価の点数：a…+1、b…±0、c…−1、d…−2
●表記の評価基準：A…4～3／B…2～1／C…0～−1／D…−2～−3／E…−4～−5／F…−6
●思考の評価基準：A…3／B…2～1／C…0～−1／D…−2～−3／E…−4～−5／F…−6
●論理の評価基準：A…3／B…2～1／C…0～−1／D…−2～−3／E…−4～−5／F…−6

思考 総合評価	①設問文・出題意図の理解	
	a	設問要求を正しく理解できている
	b	設問要求をおおむね理解できている
	c	設問要求の理解が不十分である
	d	設問要求を理解できていない
	②問題提起・課題の発見	
	a	テーマや資料から課題を発見し、明確な問題提起がなされている
	b	テーマや資料から課題を発見し、おおむね明確な問題提起がなされている
	c	テーマや資料を踏まえた課題の発見・問題提起があいまいである
	d	テーマや資料を踏まえた課題の発見・問題提起がなされていない
	③独自性	
	a	独自の考えを具体的に示すことができている
	b	独自の考えをおおむね示すことができている
	c	独自の考えの提示が不十分である
	d	独自の考えがみられない／剽窃・引き写しがみられる

論理 総合評価	①主張・意見の明確さ	
	a	主張・意見が明確である
	b	主張・意見がおおむね明確に示されている
	c	主張・意見があいまいである
	d	主張・意見が明確でない／述べられていない
	②根拠の客観性	
	a	客観的な根拠が示されている
	b	客観的な根拠がおおむね明確に示されている
	c	客観的な根拠があいまいである
	d	主観的／根拠が誤っている／根拠が示されていない
	③論理の進め方	
	a	筋道が通っていて論理的である
	b	大筋で論理が通っている
	c	筋道があいまいで論理的でない箇所がある
	d	論理的でない／論理が飛躍している

【記述欄】

評価欄の評価項目に基づいて
内容・表記両面の誤りを
指摘・修正します。

【添削欄】

記述欄の修正内容に関する解説を
します。

【評価欄】

以下の観点から評価します。

「構成・段落」：文章全体の構成や段落わけの仕方
「表記」：基本的な表記上のルール
「思考」：設問の理解・課題の発見など
「論理」：主張・意見の明確さや論理性など
「字数」：提示された制限字数に対する記述状況

【所感欄】

文章全体における改善点や今後の
復習方法についてアドバイスします。